

## 競 技 上 の 注 意

- 1 本大会は2024年（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
- 2 混成大会上位4名までの入賞者（1・2年生のみ）は次年度茨城県高校総体へのシート権を得る。
- 3 招集について
  - （1）競技者は招集集合時刻に招集所に集合し、競技者係より胸背部のアスリートビブスと腰ナンバー標識等の確認を受け、終了後、競技者係の誘導に従って競技場内に入場する。
  - （2）招集は、代理人は認めない。
  - （3）競技を棄権する場合には「棄権届」を招集所競技者係に提出する。招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなす。
- 4 使用できるシューズ・スパイクについて  
本大会は競技規則TR5を適用する。使用できるシューズ・スパイクは以下のとおりとする。規定を超えたものを使用した場合、失格となる。

種目	ソールの厚さ
100m～300m、100mYH、100mH、110mJH、110mH、300mH 走幅跳、走高跳 砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投	20mm以内
800m～3000m 三段跳	25mm以内

- 5 競技者の変更は認めない。
- 6 アスリートビブス、腰ナンバー標識（1～9レーン）は各校で準備すること。10レーン以降の腰ナンバー標識は、該当種目招集時に配布する（安全ピンは各自で準備）。トラック種目出場者は胸背部にアスリートビブスを、腰部（右腰後方）に腰ナンバー標識をつける。フィールド種目出場者は胸背部（跳躍競技は胸部・背部片方のみでもよい）にアスリートビブスをつける。
- 7 個人情報の取り扱いに関して  
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。
- 8 ゴミ処理について  
ゴミは、各自で必ず持ち帰ること。
- 9 バーのあげ方

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9
八種走高跳	1.35 1.60	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	1.64	1.67	1.70
七種走高跳	1.15 1.40	1.20	1.25	1.30	1.35	1.38	1.41	1.44	1.47	1.50

天候等によっては、練習跳躍（八種 1.35 1.60 七種 1.15 1.40）と1（八種 1.40、七種 1.20）の高さを変更することがある。

10 ハードル補助員

1・2台目 佐和 3・4台目 常磐大 5・6台目 牛久栄進 7・8台目 下館一 9・10台目 つくば秀英

11 競技者・補助員以外の競技場内への立ち入り禁止とする。また、競技場内への通信機器（ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話など ※イヤフォンを含む）の持ち込みは禁止とする。

12 プログラムの氏名・アスリートビブスなどに訂正がある場合は、招集所競技者係に申し出ること。

13 助力については、競技規則TR6に従う。なお、競技場の特性上、走幅跳、三段跳に関しては、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡したりしての映像の確認は認めない。スタンドから映像を見せる場合はコーチエリアを利用すること。

その他のフィールド種目に関しては、指定されたエリアで映像確認を行うこと。録画再生機器や録画映像を競技区域内に持ち込むことは認められない。

14 応援について

応援について 集団応援はサイドスタンド及びバックスタンドで行うこと。ただし競技に支障がある場合（競技中のスタート、フィニッシュ地点の近くやフィールド競技実施中の競技場所近くでの声援）は控えること。

**練習会場での注意事項**

1 練習は各校監督のもと、事故防止に十分配慮すること。

2 補助競技場では危険が伴うので、十分注意して行うこと。

3 補助競技場等のウォームアップエリアへは混雑を回避（密を防ぐ）するために付添等は入らないこと。

4 補助競技場の使用レーンについては次の通りとする。

1～2 レーン：中・長距離、 3～6 レーン：短距離、 7～8 レーン：ハードル

5 補助競技場の使用については16：00をもって終了する。

6 補助競技場での投てき物（砲丸、円盤、ハンマー、やり）を使った練習は禁止とする。メディシンボール等の用具を使った練習は補助競技場のみとする。